|  |  |
| --- | --- |
| 分野名 | マネジメント分野（ビジネス・マネジメント） |
| 教科書 | 東京法令出版　ビジネス・マネジメント |
| 単元 | 章 | 第１章　ビジネスとマネジメント |
| 節 | 第２節　イノベーションの重要性 |
| 教材タイトル | ビジネスで未来を作り出そう１ |
| 教材からの学び | １　現代の課題について考察する。２　ビジネスフレームワークとして、ＰＥＳＴ分析を活用し、世の中全体から見た課題の分析力を養う。 |
| 時間数 | ２時間 |
| 授業の進め方 | ＜１時間目　グループワーク＞１　ワークシートを配付し、各グループ１つずつ課題を与える。各グループに分かれ、その課題について情報整理をし、考察する。なるべく６つの課題をいずれかのグループが担当するようにする。グループは４人～６人構成を想定している。　　事前にどの情報を調べてまとめるか役割分担を決める。　　インターネットの情報を活用してよい。　　次回の授業時間までに事前学習させる。　　（50分）＜２時間目　グループワークとジグソー学習＞２　グループに分かれ、自らのアイデアを出し、ＰＥＳＴ分析をする。　（25分）３　グループごとに、発表し、ジグソー学習をする。　（25分）４　振り返りシートを活用して、振り返りをする。　（次回の授業時間までの課題とする） |

グループワーク・ジグソー学習　「ビジネスで未来を作り出そう１」　授業計画

■本単元の位置付け

第１章　ビジネスとマネジメント

第２節　イノベーションの重要性

■本単元の目標

＜１時間目＞

・与えられた資料から、その課題について情報整理力と課題解決力を身に付ける。

＜２時間目＞

・グループに分かれ、ＰＥＳＴ分析をし、世の中全体から課題解決する力を身に付ける。

・他者の発表から、ビジネスプランについて多面的・多角的に考察する力を身に付ける。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

　・今の日本が直面している課題について、理解している。

【Ｂ】思考・判断・表現

　・ＰＥＳＴ分析を活用し、世の中全体の問題として分析しようとしている。

　・自分と他人の意見を結び付けながら、よりよいアイデアにしようとしている。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

　・課題解決に対して、主体的に取り組もうとしている。

　・グループワークの中で、積極的に発言しようとしている。

■留意事項

グループワークが円滑に進むように、適宜教員から指導・助言を行う。

**今の日本が直面している課題を整理しましょう**

**１　グループに分かれ、次の６つの課題の中から、各グループ課題を１つ選びましょう。なるべく６つの課題をいずれかのグループが担当するようにしましょう。**

**課題１　インフラの老朽化**

**ビル（建物）や下水道施設、交通網の整備など老朽化が進んでいます。今後20年間で建設後50年以上経過する施設は半数以上になると内閣府は推測しています。また、今後40年間の維持修理・更新費は総額547兆円とも推測しています。**

**課題２　環境問題、自然災害の甚大化への対応**

**環境問題は、地球温暖化、大気・海洋・陸上汚染、森林破壊、生物多様性喪失（絶滅危惧種、レッドリスト）などが問題になっています。また、自然災害では、異常気象が多発しています。**

**課題３　国内のエネルギー問題**

**わたしたちの生活の暮らしには、電気が必要です。生活に必要な電気を作るためには、そのもとになるエネルギーが必要です。日本は、どのようにしてエネルギーを作っているのでしょうか。また、世界では脱炭素化（カーボンニュートラル）や、再生可能エネルギー、省エネ技術、代替資源が注目されています。**

**課題４　ＡＩ・ロボット、データサイエンス活用による産業構造の変化**

**モノを製造するために、ＡＩやロボットが活用される時代になりました。特に、単純労働や高い知識・記憶力を必要とする仕事はＡＩやロボットが、ヒトの代替となっていきます。今まで、お昼の時間にヒトがしてきた定型処理を、事務所を閉鎖した後、夜中にＡＩが定型処理を済ませ、翌日の営業日までに仕事を完遂させるＲＰＡツールも活用されています。また、機械やコンピュータが自ら学んでよりよい判断をする能力をもち、自動運転技術、モノや機器・ビル・インフラが相互接続される「コグニティブ・ネットワーク」なども登場しています。**

**課題５　格差・社会的分断**

**国内の労働者の内訳は、総務省の労働力調査によると、正規雇用者は６割、非正規雇用者は４割となっています。収入の格差が増大するにつれ、様々な格差が生まれます。また、ＳＮＳの普及や、ＶＲ（仮想現実）を活用したメタバースの登場により、コミュニケーションに疲れ、相手との対話・会話を望まずに、自分の世界に逃避することもでき、社会的分断が進み、価値観の異なる人との衝突も増えてしまいます。**

**課題６　食文化の変化と発展**

**国内の食料自給率は低く、海外の食料品が国内にあふれています。また、国内における水産物や、農作物の持続的利用・管理もますます大変になっています。また、食事をすることで摂取していた栄養素も、サプリメントや栄養剤などから取り入れるなど、食文化も変化しています。さらに、ＳＤＧｓに対応するため、環境問題や、栄養価を考慮した代替食品も発売されています。**

（　　　）**年（　　　）組（　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

**２　グループで調べ学習をし、その課題や事例、解決策についてまとめてみましょう。**

|  |  |
| --- | --- |
| **選んだ課題** |  |
| **調べた情報** | **具体的な数字や事例をあげてみましょう** |
| **解決策** |  |

（　　　）**年（　　　）組（　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

**３　２の課題について、グループの中で洗い出した情報を共有し、フレームワークとして、**

**ＰＥＳＴ分析しましょう。**

**※ＰＥＳＴ分析は、Politics（政治）、Economics（経済）、Society（社会）、Technology（技術）の４つの視点から、全体的に物事を考えるためのフレームワークです。課題によっては、すべて当てはまらない場合もありますので、影響を与えるものだけを記入しましょう。**

**Politics（政治）：法律の規制および緩和、国内外の政治の動向など**

**Economics（経済）：景気や物価の動向、株価の変動など**

**Society（社会）：人口動態や流行の変化、ライフスタイルや文化の変化、人と人とのつながり、コミュニケーション**

**Technology（技術）：技術の開発、特許、情報革新など**

**＜ＰＥＳＴ分析＞**

|  |  |
| --- | --- |
| **Politics（政治）** | **Economics（経済）** |
| **Society（社会）** | **Technology（技術）** |

（　　　）**年（　　　）組（　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

**４　各グループで共有した情報と、ＰＥＳＴ分析した情報を他のグループに共有し、ジグソー学習をしましょう。他のグループの発表を簡単にメモしましょう。気になったキーワードをメモできたら、家に帰って調べてみるといいですね。**

|  |  |
| --- | --- |
| **課題１** | **インフラの老朽化** |
|  |
| **課題２** | **環境問題、自然災害の甚大化への対応** |
|  |
| **課題３** | **国内のエネルギー問題** |
|  |
| **課題４** | **ＡＩ・ロボット、データサイエンス活用による産業構造の変化** |
|  |
| **課題５** | **格差・社会的分断** |
|  |
| **課題６** | **食文化の変化と発展** |
|  |

（　　　）**年（　　　）組（　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　）**